

吉里　浩恵 議員

大規模災害に備えたライフライン復旧体制の強化について

問 **専門事業者との連携強化など、迅速な復旧に向けた体制づくりを進める考えはあるか**

答 **管工事組合の組織化は必要であるため、市内事業者と意見交換等を進めたいと考えています**

問 **災害はいつ起こるか分からない。組織化を早急に進める必要があると思うが、どれくらいを期限とし進めるのか。**

答 **都市整備部長**

市内事業者との協議・調整が必要なため、現時点で時期は示せませんが、その必要性を十分に踏まえ取り組んでいきます。

問 **地域の専門事業者との連携強化や災害協定など、迅速な復旧に向けた体制づくりを進める考えはあるか。**

答 **都市整備部長**

現在、市内には管工事組合等の組織体がありません。災害時だけでなく平時の水道管の破損時にも迅速な復旧作業を実現するため、管工事組合の組織化は必要と考えています。今後、市内事業者と組織化に向けた意見交換や、災害時の応急復旧に関する連携体制の構築を進めていきたいと考えています。

問 **大規模災害時に上下水道を一日でも早く復旧するには、地域の専門事業者との連携が欠かせない。市内に管工事組合がない現状を踏まえ、応急復旧体制と今後の組織化について伺う。**

問 **上下水道施設の応急復旧にあたり、地域の管工事事業者との連携体制と現状の課題をどのように認識しているか。**

答 **都市整備部長**

被災時は一般社団法人滋賀県建設業協会高島支部との協定に基づく応急復旧の応援要請のほか、市内の管工事事業者へ個々に応援を求め、応急復旧にあたることとしています。市内事業者だけでは困難な場合は、県や公益社団法人日本水道協会滋賀県支部へ応援を要請します。県内他市の多くは管工事組合等と災害時の復旧活動への応援に関する協定を締結しており、本市も迅速な復旧に向けた体制整備が必要と認識しています。



その他の質問

・3月議会及び6月議会一般質問を踏まえた、近江今津駅周辺まちづくりの進捗状況について

・高島市農業の高度化に向けた戦略的な政策展開について